

令和6年度第3回タウンミーティング 地域課題及び要望事項 回答書 富田地区

	項目名	内 容	地区・場所	備 考	担 当	回 答
1	新病院建設に向けて	加西病院の医師不足問題の解消について、今後の方針を聞きたい。			病院事務局	<p>医師不足は全国共通の課題であり、当院においても同様で、医師誘致に向けて取り組んでおります。引き続き、堅実に神戸大学や北播磨総合医療センター等に派遣へのお願いをしていくことを主軸に、派遣が厳しい診療科については、民間の紹介会社の活用なども行っております。また昨年度から実施した医師確保奨学金も10名の学生に貸与しており、将来的に加西病院に勤務してもらえることが期待できるものです。</p>
2	青少年育成補導委員、社会教育推進委員について	青少年育成補導委員、社会教育推進委員は必要か。形骸化していないか。			教育委員会	<p>青少年育成補導委員は10名の女性委員を含む149名で活動しています。節句祭り、サイサイ祭りでの巡回補導や街頭キャンペーンを行い、非行防止の啓発運動を行っております。9月末で、午前・午後の巡回補導を266回、20時以降の夜間巡回を115回、計381回の活動を実施しております。また、青色パトロールカーによる巡回も非行抑止になっていると考えます。青少年育成補導委員の活動は加西市の青少年健全育成に貢献しているところではありますが、ご指摘いただいた巡回補導の形態等については今後調査検討を行いたいと考えます。</p> <p>社会教育推進員について、昨年度、全区長様を対象にアンケート調査を実施いたしましたところ、社会教育推進員は各町で様々な役割を担っていただいております。社会教育推進員の廃止には反対のご意見が多数でございました。今年度より社会教育推進員研修の実施や自治会の社会教育活動に対する補助金制度(最大2万円)を新設し、社会教育推進員活動により一層の促進を図っています。</p>

3	太陽光パネルの設置について	太陽光パネル設置に際して、加西市からの助成金が住居家屋にしか出ないことに納得がいかない。	吸谷町		環境部	<p>環境課では、「加西市創エネ・蓄エネ設備設置補助金事業」を実施しており、蓄電池及び太陽光発電設備を同時設置された方に補助金を交付しています。</p> <p>この事業の主旨は、発電した電気を蓄電して自家消費する事を目的としています。住宅以外に設置する設備にも補助した場合は、売電目的での設備にも補助する可能性があり、環境面での貢献が少なくなります。</p>
4	市道認定について	市道認定の条件を緩和してほしい。(4m幅の条件解除等) 生活道路の状況では自治会の負担が大きい。	福居町		建設部	<p>市道に認定する道路は、一般交通の用及び不特定多数の用に供する道路としています。4mの幅は車のすれ違いに必要な幅であり、緊急車両が問題なく通れる幅でもあります。また、建築基準法では建築をする際に幅員4m以上を有する必要があると定められています。</p> <p>以上のことから市道に認定する道路は通り抜けを基本とし、幅員4m以上有すること、土地所有者が市であること、民地との境界が明確であるものとしています。</p> <p>生活道路の管理については、負担軽減策として補助率(2/3)の高い「加西市生活道路整備補助金」を設けておりますので、活用をご検討願います。</p>
5	補助金制度について	道路、集会所等の加西市からの補助金制度の見直しをしてほしい。 (当該工事費用の金額の引き下げ、補助率の引き上げ)			地域部 建設部	<p>道路につきましては本年度から生活道路補助金を創設し、運用を行っています。本補助制度は、同様の補助を行っている他の市町と比較しても、補助率はかなり高いものとなっておりますので、何卒ご理解いただきますようお願いいたします。</p> <p>集会所改修補助につきましては、複数修繕の合算額で申請可能ですので、経過年数を見越した計画的なご活用をお願いします。</p>
6	災害対応について	災害時の指定避難所・富田小学校までは遠いので高齢者には厳しい。自治会に近くて、自治会が希望する場所(施設)への市からの要請は可能か。	芝自治区		政策部	<p>おそらく民間の施設になろうかと思いますが、自治会がご希望される場所(施設)との調整に際しては、ご協力させていただきます。</p>

7	危険家屋について	老朽化した空き家1戸の対処について再度の要望(2022年以來)。屋根や瓦が落下等一部倒壊状況。庭木の枝が道路へはみだす等危険な状態。前述の状況の解決策を示してほしい。			政策部	現在、今年度で期日を迎える『加西市空家等対策計画』の改定を進めているところでございます。空家等対策の推進に関する特別措置法の改正及び加西市空き家等の適正管理に関する条例の改正を反映させたものに、具体的な対応策の検討を行っておりますので、今しばらくお待ちいただければと思います。
8	山林の管理について	地元による山林管理への補助制度はあるが、樹木、竹林の伐採作業は危険を伴うので、市が全域を一括し専門業者に伐採・処理・再資源化等の業務委託をし、各町が適時利用できる制度(利用限度額の設定他)の検討を求める。			産業部	里山整備事業については、継続的に対応できるよう予算化しており、複数年にわたり継続的にご活用ください。また危険な箇所においては専門業者に委託して対応をお願いします。今後、大規模な森林整備の補助事業については県に要望し検討してまいります。
9	介護保険料について	介護保険料の引き下げを検討いただきたい。			福祉部	今後、後期高齢者の増加による介護給付費の増加が見込まれることから、介護保険料の引下げは困難であると考えますが、介護予防の取組強化による介護給付費の抑制や基金の活用等により、介護保険料の抑制に努めてまいります。
	当日意見	3. 太陽光パネル設置の質問に補足し、住居家屋ではなく、農業用倉庫の屋根に設置しており、今後もこのようなケースは増えるはずである。カーボンニュートラルの視点からも対象としてほしいと要望した。			環境部	現行の補助要綱では、自ら居住する住宅以外は補助対象となっていません。 現在、庁内でも協議を行っており、農業用倉庫やガレージから引いた場合でも補助対象となるように要綱改正を検討していきます。
	当日意見	町内の方が宅内で転倒し、ガラスで切った。加西病院の救急で断られた。その後消防に連絡し西脇市民病院に搬送となった。 発熱外来も断れたと聞いている。市民病院なのに受け入れないとはどういうことか。看護師の態度も悪い。もっと対応を親身にしてほしい。			病院事務局	お断りの件について、お詫び申し上げます。 発熱外来は翌朝でも大丈夫であれば、お断りしている状況です。深夜間の医師については、働き方改革もあり、限定的となっている状況です。 現在の救急受け入れは、市内の方の半分は対応できていますが、残り半分は北播磨総合医療センター等へ搬送されている状況です。 看護部の対応については、5月のタウンミーティングでもご指摘があり、院内でも情報共有し改善に取り組んでいるところです。ご理解をお願いします。

	当日意見	市外の県道は歩道を有していたり、広かったりする。市内もどうかしてほしい。			建設部	現在、山田町や北条町高室の歩道整備にかかっています。予算的な面もあり、計画が遅れているのも事実です。西谷～谷町交差点までの歩道整備もそのひとつであり、県会議員も含め、県に何度も足を運び要望している状況ですのでご理解をお願いします。
	当日意見	7. 危険家屋に関連して、塀が崩れて、道をふさいだことがあり、町役員と所有者で道路をきれいにしたが、いつ倒れてもおかしくない状況が続いている。今回の回答で、法及び条例の改正に伴い審議会の設置を予定されているとのことであるが、現行の対応から変更することがあるのか。			政策部	審議会で特定危険空き家と認定されれば、最終的には行政代執行ができる状況となります。しかしながら、金銭の負担が発生しますので、今後も検討が必要です。空き家の問題は解決が困難であり、ご理解もいただいております。タウンミーティングでも増えてきている行政課題として認識していますので、こちらも勉強しながら、対応を考えていきます。
	当日意見	今日の議題についても、市役所で相談すれば解決できることばかりであり、この会場で話し合う必要があるのか。タウンミーティングのあり方について、検討してもらいたい。区長の仕事も増えてきており、区長のなり手がいなくなっている。			地域部 総務部	タウンミーティングでは、さまざまなご要望をいただいております。地域と行政が課題を共有し、また幹部も認識し対応していくことが大切であることから、このような場合は重要であると考えております。各区長の負担が増えていることは認識しておりますので、区長会等を通じ、負担軽減について、今後考えていきます。
	当日意見	「4. 市道認定について」に関連して、幅員は3mほどではあるが、県道にも結節し、登下校にも利用している町道である。是非市道認定してほしい。			建設部	幅員が4mなくても市道になっている場合も現実にあります。昭和40年代の合併時に町道を市道にしたところもあります。しかし現在は、市の管理能力に限界もあり、新規認定は現行の基準を適用しています。市道以外は、一定地域の協力も得ながら維持をしていただきたいと考えています。ご理解のほどよろしく願います。
	当日意見	昨今、盗難や詐欺電話など、物騒な状況が続いて、非常に心配している。ライフナビも警察や防犯とも連携して情報を発信する必要があるのではないか。			政策部	かさいライフナビについては、できるだけ情報を減らして、重要、緊急に必要なものだけにしてほしいという意見もあります。かさい防災ネットへの登録をお願いします。